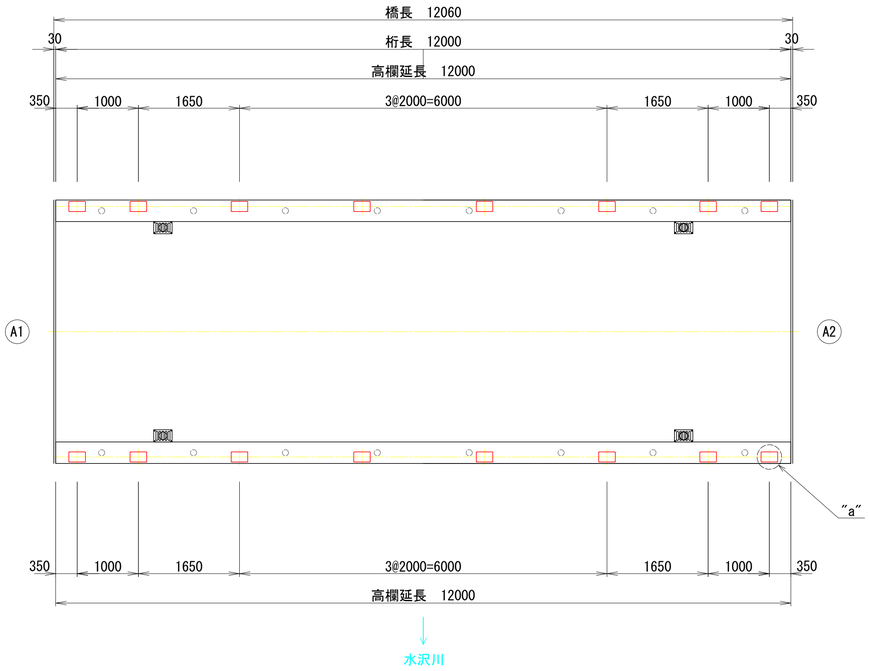
高欄補修工図

支柱割付平面図

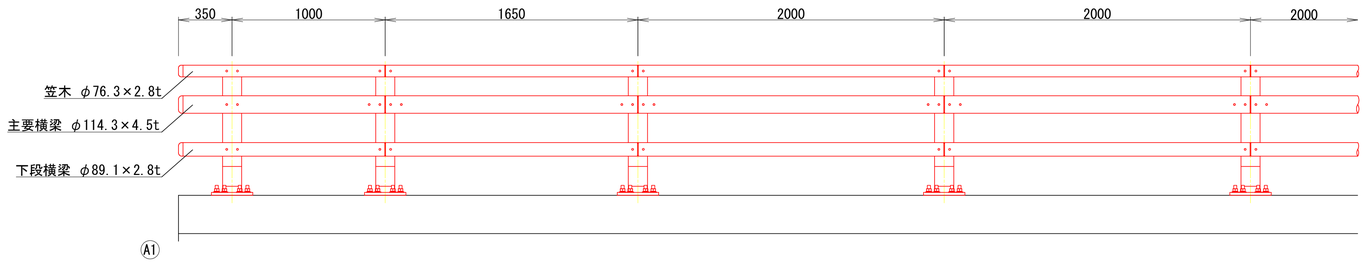
S = 1 : 50

［凡例］
- 取替後高欄支柱位置
- 既設ガードレール支柱位置



高欄組立図

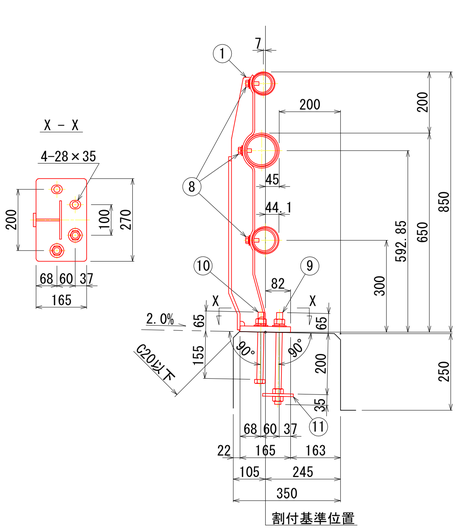
S = 1 : 20

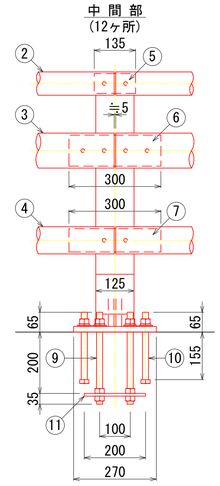


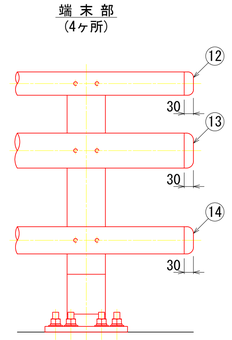
高欄詳細図

S = 1 : 10

歩行者自転車用柵兼用(種別:C)



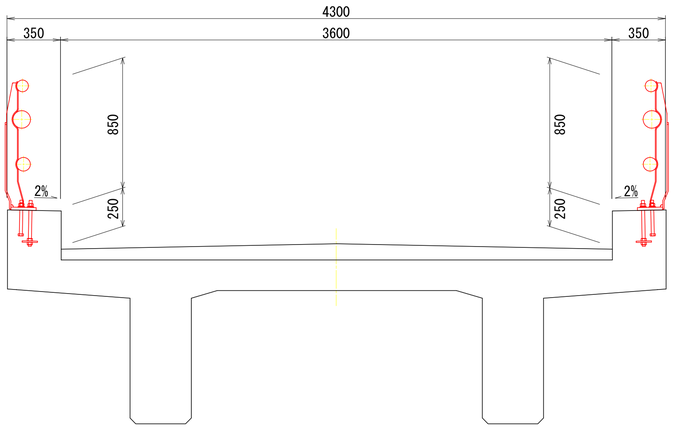




※アンカーボルトは地覆天端勾配に対して 90° に設置すること。

高欄設置断面図

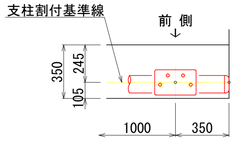
S = 1 : 20



"a"部詳細図

(4ヶ所,桁端止メ)

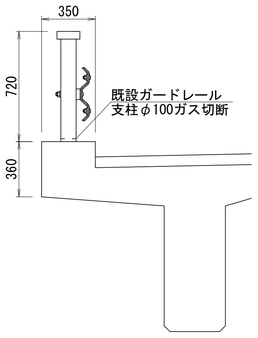
S = 1 : 20



既設ガードレール撤去工図

N = 16箇所

S = 1 : 20



高欄材料表

	名称	寸法	材質	単位質量	数量	質量
1	支柱	H850×165×125/270	SS400	15.23	16	243.7
2	笠木	φ 76.3×2.8t	STK400	5.08	23.820m	121.0
3	主要横梁	φ114.3×4.5t	〃	12.20	23.820m	290.6
4	下段横梁	φ 89.1×2.8t	〃	5.96	23.820m	142.0
5	スリーブ	φ 65.0×4.0t×135	〃	0.81	12	9.7
6	〃	φ101.6×4.5t×300	〃	3.23	12	38.8
7	〃	φ 76.3×4.2t×300	〃	2.24	12	26.9
8	取付ボルト	M12×35 (W1,SW1)	強度区分 6.8 以上	0.06	120	7.2
9	アンカーボルト	I-M20×300 (N3,W1,SW1)	〃	0.86	32	27.5
10	〃	M20×220 (N1,W1,SW1)	強度区分 4.6 以上	0.68	32	21.8
11	アンカープレート	9t×100×200	SS400	1.36	16	21.8
12	キャップ	φ 76.3×30	AC4C	0.24	4	1.0
13	〃	φ114.3×30	〃	0.47	4	1.9
14	〃	φ 89.1×30	〃	0.30	4	1.2
					合計	955.1kg
防護柵長 24.000 m						
{ 使用支柱 : 0%支柱 16本 }						

特記)橋梁用ビーム型防護柵は(一社)全国高欄協会にて認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。

1. 本防護柵の設計仕様は「防護柵の設置基準・同解説」(令和3年3月)による。
   < コンクリート強度:σck = 24 N/mm2 >
2. 表面処理:溶融亜鉛めっき後、静電粉体塗装仕上げ。
   < ボルト類は溶融亜鉛めっき仕上げとし、アンカープレートは表面処理無し >

注記
- 図面上の寸法は既存資料及び現地計測結果から作図したものである。
- 施工にあたっては現地再計測のうえ、施工箇所及び範囲の確認を行うこと。

下高野線第1号橋

令和８年度		工事番号	
路線名 河川名	林道下高野線		
箇所名	仙北市田沢湖生保内字下高野地内		
工事名	下高野線第1号橋橋梁補修工事		
高欄補修工図		縮尺	図示
照査	設計	図面番号	9/16
仙北市			